目次

はしがき	i
略語一覧	vii
要約	1
序章 2013年の東アジア	25
1 北東アジア情勢の先鋭化・深刻化	27
2 地域安全保障秩序を規定する要因としての米中関係	29
3 多国間安全保障対話・協力の進展	31
第1章 日本 安全保障政策の新たな展開	33
1 国家安全保障会議の設置と国家安全保障戦略の策定	35
(1) 進化を目指す安全保障政策	35
(2) 国家安全保障会議の設置	36
(3) 国家安全保障戦略の策定	43
(4) 国家安全保障戦略の今後の課題	49
2 新たな防衛大綱——統合機動防衛力の構築	51
(1) 冷戦後の防衛大綱——「実効性」の追求	51
(2) グレーゾーンにおける抑止力の強化	56
(3) 統合運用の観点からの能力評価と海上優勢・航空優勢重視	59
(4) 統合機動防衛力の構築	61
第2章 朝鮮半島 北朝鮮の経済・核「並進路線」と 韓国信頼外交の始動	69
1 北朝鮮の経済発展と核開発の「並進路線」の展開	71
(1) 「核保有国」の既成事実化	71
(2) 経済強国建設への動き	76
2 北朝鮮の対外的対話路線の併用	81
(1) 3回目の核実験後の対外強硬姿勢	81
(2) 中国による限定的な圧力強化	83
(3) 対南対話などの再開	86
3 米中両国を重視しつつ、対北朝鮮抑止力を強化——韓国	89
(1) G2とアジア・パラドックス——朴槿恵大統領の外交	89
(2) キル・チェーンと韓国型ミサイル防衛	96
第3章 中国 前途多難な習李体制	103
1 深刻な不安定要因を抱える中国	105
(1) 鈍化する中国の経済成長	105

(2)	新疆ウイグル自治区で暴動発生	107
(3)	腐敗した鉄道部の解体	108
(4)	反腐敗闘争がもたらす党内亀裂	109
2	強硬と協調を使い分けるしたたかな中国外交	111
(1)	核心的利益を重視する外交方針	111
(2)	同床異夢の米中「新型大国関係」	113
(3)	矛盾をはらむ「周辺外交」	116
3	軍事力の積極的な運用と装備の近代化の進展	119
(1)	新たな国防白書の発表	119
(2)	対外政策とリンクさせた軍の活用	120
(3)	ロシアからの技術移転を活用した装備の近代化	122
4	信頼のないまま深まる中台関係	125
(1)	密接化する経済関係と人の交流	125
(2)	中台要人の接触——指導部レベルへ上昇か	128
(3)	台湾の国際社会への参加と中国の反応	130
(4)	中国への警戒感が高まった台湾版 QDR	131

第4章 東南アジア 複雑化する南シナ海情勢 135

1	南シナ海情勢——複雑化する ASEAN の対応	137
(1)	フィリピン——中国との対立姿勢が鮮明に	137
(2)	ベトナム——全方位「軍事」外交の推進	142
(3)	「行動規範」をめぐる中・ASEAN 協議の現状 ——停滞と新たな取り組み	147
2	拡大 ASEAN 国防相会議の発展——進む制度化	149
3	タイ深南部と中央政治情勢——改善の兆しから再度の混乱へ	153
4	ミャンマー情勢——宗教対立の顕在化	156

第5章 オーストラリア 超党派のアジア関与強化 161

1	2013 年国防白書——「インド太平洋」概念	163
(1)	経済的・戦略的重心のシフト	163
(2)	米中関係——「インド太平洋」の「心臓部」	165
(3)	東南アジア——地域アーキテクチャーと「地戦略」の中心	169
2	2013 年国防白書——「インド太平洋」における「国防関与」の強化	172
(1)	2009 年国防白書との違い	172
(2)	「国防関与」を重視する背景	175
(3)	米豪同盟——「戦力態勢イニシアティブ」の進展	179
3	国内政治の混乱と政権交代	183
(1)	第2次ラッド政権の発足と終焉	183
(2)	アボット保守連合政権の発足	185
(3)	悪化する対インドネシア関係——アボット外交の最初の課題	191

第6章 ロシア 日露外務・防衛閣僚協議（「2 + 2」）の立ち上げ 195

1	第2次プーチン政権が抱える課題	197
---	-----------------	-----

(1) 揺らぐブーチン大統領の政治基盤	197
(2) 限られた経済政策手段と極東開発の推進	199
(3) 北極への戦略的な関与	202
2 変化する国際社会におけるロシアの立ち位置	206
(1) 戦略的に展開される対外エネルギー政策	206
(2) 対立と協調のはざまに揺れる米露関係	209
(3) 安全保障面で増大する潜在的な対中懸念	212
(4) 進展する日露間の安全保障対話	217
3 戦闘即応態勢の向上を目指すロシア軍	221
(1) 軍改革の改善を図るための「抜き打ち検閲」	221
(2) 厳しい財政規律における国防費	225
(3) 強化を目指す国防産業と武器輸出	229

第7章 米国 試されるアジア太平洋へのリバランス

1 2013 会計年度強制削減と国防予算削減	235
(1) 強制削減とその影響	235
(2) 「戦略的選択・管理見直し」と今後の米国の国防体制	239
2 第2期オバマ政権におけるアジア太平洋リバランス	244
(1) グローバルなコミットメントにおけるリバランス	244
(2) アジア太平洋リバランスの特徴	246
3 アジア太平洋リバランス戦略の進展	248
(1) 地域諸国および ASEAN との関係強化に向けた取り組み	248
(2) 競争的側面の管理を目指す対中政策	252
(3) アジア太平洋におけるプレゼンス強化の動き	256

第8章 アフガニスタンとその周辺地域 ISAF 撤退を見据えて

1 カルザイ政権の13年	263
(1) 混迷続く内政運営	263
(2) タリバンなどの対抗勢力	265
2 アフガニスタンの対外政策と地域情勢の不安定化	269
(1) 自立的プレーヤーへの転換?	269
(2) パキスタン内政動向とアフガニスタンとの危うい関係	272
(3) ロシアと旧ソ連・中央アジア諸国	274
(4) 近隣のパートナーを探して——インド、イラン、中国との関係	275
3 国際社会による安定化に向けた関与	278
(1) ISAF 撤退後のアフガニスタンの治安維持	278
(2) 軍・治安機関改革に向けた支援	281
(3) タリバンとの和平交渉の展開	284
(4) 民生部門の復興支援	285
4 岐路の2014年に向けて	287

第9章 シェール革命と国際安全保障環境

1 シェール革命とは何か	293
--------------	-----

(1) 革命の端緒としての米国における技術革新	293
(2) 「革命」といわれる理由	294
(3) 安全保障の観点からのシェール革命の見方	297
2 シェール革命の現状	298
(1) 米国におけるシェールオイル増産	298
(2) 米国におけるシェールガス増産	300
(3) 米国シェールガスの増産が国際エネルギー市場に及ぼす影響	301
3 シェール革命の今後の展望	303
(1) シェールオイル生産と国際安全保障への影響見通し	303
(2) シェールガス生産の見通し	305
(3) シェール革命の国際関係への影響をめぐる議論	306
(4) シェールガス生産の制約要因	309
4 シェール革命下の米国のエネルギー政策	311
(1) 能動的なエネルギー安全保障戦略への転換	311
(2) LNG 輸出をめぐる経済性の観点からの議論	312
(3) LNG 輸出が国際関係に及ぼす影響をめぐる議論	314
(4) 米国のエネルギー政策に及ぼすシェール革命の影響	316
5 ロシア、欧州および東アジアの関係に与えるシェール革命の影響	319
(1) ロシアと欧州との相互依存関係	319
(2) ロシアのエネルギー政策の変遷にみる欧州・東アジア市場の相対性	319
(3) シェール革命へのロシアおよび欧州の対応	322
6 中国のエネルギー政策に及ぼすシェール革命の影響	324
(1) 中国のエネルギー政策	324
(2) 国内生産の拡大を目指す中国のエネルギー安全保障政策	325
(3) 中国のエネルギー安全保障に及ぼすシェール革命の影響	327

解 説

日本の安全保障政策における改革の今後の課題——知的基盤の重要性	42
ガイドライン見直し	62
弾道ミサイル対処能力の総合的な向上	65
韓中人文紐帯	92
韓国の武器輸出	101
18期3中全会における中央国家安全委員会の設置と国防・軍隊改革の提唱	124
タイ深南部の騒乱——その背景と問題の長期化	155
北東アジア3国への関与	178
オーストラリア国防軍の態勢見直し	182
ANSFと治安権限移譲プロセス	283
シェール革命への日本の対応	329

資 料

第1回「日露外務・防衛閣僚協議」(2013年11月2日)における合意事項	219
--------------------------------------	-----